

作成日 令和4年2月3日  
 施設名 なら工藝館

2022年度 指定管理事業(施設管理事業) 計画概要

1. 事業名 なら工藝館施設管理事業  
 2. 事業の趣旨 ならまち賑わい構想の実現に向けて整備された工藝館が、その設置目的を最大限に発揮し工芸の振興発展に寄与する管理運営を行う。  
 3. 事業内容 なら工藝館における「受け継ぐ」・「創作する」・「開放する」という三つの基本理念のもとに事業を行う。工芸と観光・商業が融合し工藝館の更なる魅力を発信するために、展示や販売の専門的な知識や情報を取り入れる。  
 4. 対象・定員 奈良市民  
 5. 開催場所 なら工藝館  
 6. 主催・共催等  
 7. 予算

(1)収支差額

科目	見積額(千円)	2022年度見積額の算出基礎(千円)	
指定管理料収入	45,066	奈良市指定管理料	45,066
収入計	45,066		
人件費	33,182	財団職員等	33,182
委託料	3,735	清掃委託	1,878
		空調設備保守点検	287
		昇降機保守点検	463
		電気設備保守点検他	974
		建築物定期点検	72
		HP保守管理費	61
手数料	65	振込手数料	65
消耗品費	305	施設用消耗品	217
		事務用消耗品	88
光熱水費	2,888	電気代	2,627
		水道代	212
		ガス代	49
燃料費	20	ガソリン代	20
既契約リース等	681	賃借料	681
その他の管理経費	722	通信運搬費	255
		修繕費	100
		収入印紙	3
		保険料他	364
消費税	3,468	消費税	3,468
支出計	45,066		
収支差額	0		

(2)前年度比較(単位:千円)

科目	当年度予算額	前年度予算額	増減	増減理由
指定管理収入	45,066	45,066	0	
収入計	45,066	45,066	0	
人件費	33,182	33,182	0	
委託料	3,735	3,622	113	HP保守・建築物点検の増
手数料	65	65	0	
消耗品費	305	305	0	
光熱水費	2,888	2,911	△ 23	
燃料費	20	20	0	
既契約リース等	681	681	0	
その他の管理経費	722	712	10	
消費税	3,468	3,468	0	
支出計	45,066	44,966	100	
収支差額	0	100	(100)	

作成日 令和4年2月3日

施設名 なら工芸館

2022年度 指定管理事業(文化振興事業) 計画概要

1. 事業名 子ども工芸教室(継続事業)
2. 事業の趣旨 奈良の工芸のすばらしさ伝えることを目的に、子どもたちからものづくりへの興味や楽しさを体験してもらい、より深く工芸を知ってもらいきっかけづくりになるよう開催します
3. 事業内容 陶芸(赤膚焼)・秋篠手織・奈良晒の制作体験教室
4. 開催日程 7月中旬から8月中旬
5. 出演者・講師等 大塩正史(陶芸)・本田晃(一刀彫り)・小野瑛子(秋篠手織)・岡井孝憲(奈良晒)
6. 対象・定員 小学生 他
7. 開催場所 なら工芸館
8. 主催・共催等 なら工芸館
9. 予算

(1)収支差額

科目	見積額(千円)	2022年度見積額の算出基礎(円)	
指定管理料収入	130	奈良市指定管理料	130,000
収入計	130		
消耗品費	25	道具等	25,000
諸謝金	105	@7,000円×6回×1分野	42,000
		@7,000円×3回×3分野	63,000
		計	105,000
支出計	130		
収支差額	0		

(2)前年度比較(単位:千円)

科目	当年度予算額	前年度予算額	増減	増減理由
指定管理収入	130	132	△2	
収入計	130	132	△2	
消耗品費	25	27	△2	
諸謝金	105	105	0	
支出計	130	132	△2	
収支差額	0	0	0	

作成日 令和4年2月3日

施設名 なら工芸館

### 2022年度 指定管理事業(文化振興事業) 計画概要

1. 事業名 運営委員会(継続事業)
2. 事業の趣旨 なら工芸館の事業にかかる企画、立案を様々な方面から収集し提言を行う。  
種々事業を実施することにより奈良工芸の一層の活性化を図る。
3. 事業内容 なら工芸館の常設展示、企画展示、工芸教室開催等、活性化につながる  
運営等の企画・立案
4. 開催日程 通年
5. 出演者・講師等 荒木義人(一刀彫)・江崎哲(デザイン協会)・大塩昭山(赤膚焼)  
大塩正(陶芸)・岡井孝憲(奈良晒)・小野瑛子(秋篠織)  
中坊竜堂(古楽面)・竹井耀齋(壘る窯)・中田紀子(大学講師)  
宮澤昌輔(乾漆)・杉村聡(漆)・池田俊美(奈良団扇)他
6. 対象・定員
7. 開催場所 なら工芸館
8. 主催・共催等
9. 予算

#### (1)収支差額

科目	見積額(千円)	2022年度見積額の算出基礎(円)	
指定管理料収入	60	奈良市指定管理料	60,000
収入計	60		
諸謝金	60	@5,000円×12人×1回	60,000
支出計	60		
収支差額	0		

#### (2)前年度比較(単位:千円)

科目	当年度予算額	前年度予算額	増減	増減理由
指定管理収入	60	60	0	
収入計	60	60	0	
諸謝金	60	60	0	
支出計	60	60	0	
収支差額	0	0	0	

作成日 令和4年2月3日

施設名 なら工芸館

## 2022年度 指定管理事業(文化振興事業) 計画概要

1. 事業名 奈良工芸フェスティバル(継続事業)
2. 事業の趣旨 なら工芸館を広く市民にPRし、奈良工芸の一層の振興発展を図るため奈良工芸フェスティバルを開催する
3. 事業内容 奈良伝統工芸展(特別企画展示)・工芸一日体験及び実演・工芸品販売
4. 開催日程 10月下旬から11月上旬
5. 出演者・講師等 本谷定尚(一刀彫)・下田綴次(一刀彫)・由谷俱忘(一刀彫)・前田浩幸(一刀彫)・守田朋浩(一刀彫)・中坊竜堂(古楽面)・小野瑛子(秋篠手織)・岡井孝憲(奈良晒)・山中貴彦(木工)・竹井耀齋(陶芸)・安田土織(陶芸)・久保左京(竹細工)他
6. 対象・定員 1教室5名~30名
7. 開催場所 なら工芸館
8. 主催・共催等 奈良市・一般財団法人奈良市総合財団・奈良工芸フェスティバル実行委員会
9. 予算

## (1)収支差額

科目	見積額(千円)	2022年度見積額の算出基礎(円)	
指定管理料収入	543	奈良市指定管理料	543,000
収入計	543		9,156
通信運搬費	41	@94円×230通+@84円×230通	40,940
消耗品費	78	展示用消耗品等	78,000
印刷製本費	144	ポスターA2印刷 @207円×130部×1.1	29,601
		ポスターA1印刷 @1,450円×10部×1.1	15,950
		チラシ印刷 @5.6円×10,000部×1.1	61,600
		大判はがき @16.5円×2,000枚×1.1	36,300
		計	143,451
諸謝金	280	@5,000円×56人	280,000
支出計	543		
収支差額	0		

## (2)前年度比較(単位:千円)

科目	当年度予算額	前年度予算額	増減	増減理由
指定管理収入	543	543	0	
収入計	543	543	0	
通信運搬費	41	41	0	
消耗品費	78	78	0	
印刷製本費	144	144	0	
諸謝金	280	280	0	
支出計	543	543	0	
収支差額	0	0	0	

作成日 令和4年2月3日

施設名 なら工芸館

## 2022年度 指定管理事業(文化振興事業) 計画概要

1. 事業名 奈良工芸後継者育成事業(継続事業)
2. 事業の趣旨 奈良伝統工芸の後継者を育成・支援しその技術・技法を後世に伝承する
3. 事業内容 1年ごとに研修者の作品を審査し、成果を市長に提言  
研修生による実演を館外で実施
4. 開催日程 審査会は3月下旬。実演は10月中旬予定
5. 出演者・講師等 大塩正・宮澤昌輔・岡井孝憲・山本哲・北井勲・中田紀子・前田浩幸他
6. 対象・定員
7. 開催場所 なら工芸館他
8. 主催・共催等
9. 予算

## (1)収支差額

科目	見積額(千円)	2022年度見積額の算出基礎(円)	
指定管理料収入	141	奈良市指定管理料	141,000
収入計	141		
通信運搬費	8	チラシ設置依頼文発送料 @84円×25通	2,100
		来館依頼文発送料 @84円×70通	5,880
		計	7,980
消耗品費	27	会議事務用消耗品	27,000
印刷製本費	15	研修生実演チラシ	15,000
賃借料	6	貸し会場賃借料	6,000
諸謝金	85	@5,000円×8名	40,000
		工房主謝金 @15,000円×3人×1日	45,000
		計	85,000
支出計	141		
収支差額	0		

## (2)前年度比較(単位:千円)

科目	当年度予算額	前年度予算額	増減	増減理由
指定管理収入	141	141	0	
収入計	141	141	0	
通信運搬費	8	8	0	
消耗品費	27	27	0	
印刷製本費	15	15	0	
賃借料	6	6	0	
諸謝金	85	85	0	
支出計	141	141	0	
収支差額	0	0	0	

作成日 令和4年2月3日

施設名 なら工芸館

2022年度 指定管理事業(文化振興事業) 計画概要

1. 事業名 工芸相談・工芸制作実演(継続事業)
2. 事業の趣旨 奈良の伝統工芸を見て、聞いてよりよく理解してもらう
3. 事業内容 現役の工芸作家が工芸に関する諸問題に応える相談業務  
一刀彫・陶芸・漆芸等の制作実演
4. 開催日程 工芸相談/第1・3日曜日 工芸制作実演/第2・4日曜日
5. 出演者・講師等 小野瑛子(秋篠手織り)・前田浩幸(一刀彫)・篠崎真理子(漆芸) 他
6. 対象・定員
7. 開催場所 なら工芸館
8. 主催・共催等
9. 予算

(1)収支差額

科目	見積額(千円)	2022年度見積額の算出基礎(円)	
指定管理料収入	960	奈良市指定管理料	960,000
収入計	960		
諸謝金	960	@20,000円×2回×12ヶ月	480,000
		@10,000円×4回×12ヶ月	480,000
		計	960,000
支出計	960		
収支差額	0		

(2)前年度比較(単位:千円) @5,000円×3名

科目	当年度予算額	前年度予算額	増減	増減理由
指定管理収入	960	960	0	
収入計	960	960	0	
諸謝金	960	960	0	
支出計	960	960	0	
収支差額	0	0	0	

作成日 令和4年2月3日

施設名 なら工藝館

2022年度 指定管理事業(文化振興事業) 計画概要

- 1. 事業名 特別展(継続事業)
- 2. 事業の趣旨 常設展示室において「特別展」を開催することにより、奈良の伝統工芸に対する理解と認識を深めていただき、奈良工芸の振興発展、なら工藝館のさらなる周知を目的とする
- 3. 事業内容 日本伝統工芸近畿展出品の中から奈良県近隣の在住の作家の作品を中心に重要無形文化財保持者、受賞者、鑑審査委員の作品を基本として展示する
- 4. 開催日程 6月頃 (約2週間)
- 5. 出演者・講師等 作品解説作家
- 6. 対象・定員 一般
- 7. 開催場所 なら工藝館
- 8. 主催・共催等 公益社団法人 日本工芸会近畿支部
- 9. 予算

(1)収支差額

科目	見積額(千円)	2022年度見積額の算出基礎(円)	
指定管理料収入	400	奈良市指定管理料	400,000
収入計	400		
通信運搬費	10	@84円×109通	9,156
消耗品費	35	展示用消耗品、インク代	35,000
印刷製本費	84	チラシ @12.5円×3,150部×1.1	43,313
		大判はがき @18円×2,050枚×1.1	40,590
		計	83,903
諸謝金	0		0
租税公課	1	収入印紙	200
委託費	270	展示・運送作業	270,000
支出計	400		
収支差額	0		

(2)前年度比較(単位:千円)

科目	当年度予算額	前年度予算額	増減	増減理由
指定管理収入	400	400	0	
収入計	400	400	0	
通信運搬費	15	10	5	
消耗品費	35	35	0	
印刷製本費	84	84	0	
諸謝金	0	0	0	
租税公課	1	1	0	
委託費	265	270	△5	
支出計	400	400	0	
収支差額	0	0	0	